



2008 年 6 月 1 日発行
発行人：森本 泰暢
発行所：〒650-0024 神戸市中央区
海岸通 8 神港ビルヂング 509
TEL：078-393-0050
FAX：078-393-0051
E-Mail：kobekeio@dream.ocn.ne.jp
URL：<http://www.kobekeio.org/>
編集：堀 友子・齋藤 洋邦

～～6 月例会レポート～～

横田 洋子 (昭 49 文)

佐井裕正新会長と森本泰暢新幹事長体制初の例会が、6 月 19 日 (木) 18 時半より神戸ポートピアホテルに於いて開催されました。

今回は塾より慶應義塾常任理事の森 征一氏、塾員センター部長の大下亨治氏をお招きしての例会で、お忙しい中ご来神いただきました。両氏は当日午後 3 時過ぎに空港に到着され、佐井会長、阪本副会長のご案内のもと、神戸慶應倶楽部の倶楽部ルームをご見学の後、ホテルに入られました。

例会は神戸ポートピアホテル南館 16F “レインボールーム” で和やかな雰囲気のもとに始まり、森常任理事のご講演は、慶應義塾創立 150 年記念事業の立ち上げの経緯を、多方面からお話いただきました。記念事業のひとつである講演会「学問のすゝめ 21」は、2007 年 8 月に東京から始まり北は札幌から南は鹿児島まで各地で開催され、2008 年 9 月 23 日東京の NHK ホールで第 14 回を迎えるそうです。

「学問のすゝめ 21」は 150 年蓄積した【智】を世に問うもので、様々な考えは新たな発見へとつながっていくであろうこと。また、「福澤諭吉記念文明塾」の開塾は、文明の研究は常に怠ってはならず、21 世紀の人材育成に力を注いでいきたいとのこと。他、1965 年に高村象平元塾長が中心となって設立された「福澤記念育林会」のお話などをお聞きすることができました。

また、倶楽部ルームを見学された森常任理事は、歴史ある神戸慶應倶楽部の資料、レコード等に感

激され、特に音楽にご造詣が深く、にこやかにお話をされるお姿が印象的でした。

当日は、学生時代に所属されていたオペラ研究会のお友達、またクラスメイトもご出席で、神戸の地で懐かしいひとときを過ごされた事と思います。

ご講演後は皆で神戸の夜景を眺めながら、神戸ポートピアホテルの美味しいお料理と、ゆったりとした空間での歓談を楽しみました。

私は久しぶりに神戸慶應倶楽部に参加させて頂きましたが、神戸独特の暖かな雰囲気がとても嬉しく、幸せな思いで帰路につきました。

平成 21 年に創立 80 周年を迎える神戸慶應倶楽部の継続の力は、心のスマートさが基本にある様に思います。



「私の学生時代と民族教育の影響」



黄 耀庭 (昭29 経)

私は昭和六年(1931)、当時は日本の統治下にあった台湾で生まれ、生後七カ月目に両親に連れられて神戸に生まれました。

慶應義塾大学に入学したのは昭和二十五年(1950)。その頃の日吉キャンパスでは進駐軍のカマボコ兵舎を使い、そこで授業を受けたことを憶えています。

入学して間もなく、塾で共に学んでいる中国出身の人たちと、お互いに親しくすべきだという思いにかられました。なぜそういう思いを抱いたのかというと、そこには私が受けた民族教育の影響とでもいえるべきものがあったからです。

終戦の翌年、昭和二十一年(1946)四月、私は父によってなにか強制的に、これまで通っていた神戸二中から神戸中華同文学校に転校させられました。戦争中には一切口にしない民族意識があったのです。だから私の大学進学も北京でということでした。同文学校には一年半通いましたが、結局中国での政情が不安定となったため北京での大学進学は取り止め、神戸二中に復学しました。

同文学校で私は、中国語や中国の歴史などを学ぶことを通じて民族教育を受けたのです。感受性の強い少年時代に強固な民族意識

が培われ、中国人としての自覚と誇りを持つことができました。そういう民族意識があったので、私は塾においても同胞同士が親しく交流する必要性を強く感じていたのです。

そこで神戸出身の李文振さん、王紹興さんの助言によって、三田キャンパスの塾監局に相談しました。留学生の名前を教えてもらい、また、教授のどなたかに会の代表をお願いしたい旨も申し入れました。当時、塾で中国人留学生の数が最も多かったのは医学部でありました。私が相談したのは、後に東京で開業医をされた王鉄城さん(写真前列右端)。プロ野球界で活躍中の王貞治監督のお兄さんです。全学部にわたった会をつくりたいという私の提案に対して、即座に賛成してくれました。

また会の代表は法学部長にも就かれた及川恒忠教授(写真前列右から四人目)。及川教授は大正二年(1913)に慶應義塾大学部政治科を卒業、義塾留学生として中国留学の経験があり、法学部機関誌『法学研究』の創刊にも尽力、中国現代史研究の第一人者でした。その及川教授に二つ返事で会長就任の快諾をいただいた。嬉しかったです。

こうして昭和二十七年(1952)初秋、「慶應

中国同学会」の発会式を開き、活動を始めました。活動の『目玉』は週に一回、放課後に開いた中国語講座。外国語講座は塾はじまって以来の画期的なことで、これも及川教授のお蔭です。

ところが何をやるにしても資金が必要ですが、どうやって集めるか?そこで眼をつけたのが、その頃流行のダンス。ダンスパーティーをやって資金を集めてみよう!そう考えました。会場は、当時米軍の将校らがサロンとして使っていた目黒の雅叙園の最上階にあったホール。バンドは専属の東京キューバン・ボーイズ、それと松井トリオ・ジャズバンド。シンガーは黒田美治、そしてまだ駆け出しだったベギー葉山。

当日は満員で大成功でした。

民族教育に裏打ちされた同学会での活動は、今も私の青春時代の貴重な思い出になっています。

(続く)



会員だより

《留学生のことなど…》

藤井 文明 (昭 39 工)

ここ数年、甲南大学から依頼されて留学生のホームステイを預かっています。

昨年 9 月から今年の 5 月末まで香港出身で米国イリノイ大学に留学していたクリスティーナ (以下クリ:家ではクリちゃんと呼んでいました) が 9 ヶ月我家で一緒に暮らしていました。彼女は見たところ日本人と区別が付かない顔付きであり、日本語も不自由なく使えますから支障なく同居を続けていました。

そこへ今度は園田学園女子大学からフィジーの留学生を預かって欲しいとの依頼があり、一人も二人もまあいいかと引き受けたのは昨年の 12 月のことでした。まず世界地図を見ることから始め、米粒みたいに太平洋に浮かぶ島国であることを知りました。やって来たのは偉丈夫ならぬ偉主婦。

体重 100 キロ以上、ウエストサイズ 150 センチもあるかと思われる立派な体格の 30 歳代の女性です。我家に着くとすぐにボウルを貸して欲しいとのことで炊事に使うものを貸すと、水道の水を入れてからなにやら本国から持参した茶色の粉を取り出してその水に入れて



かき混ぜて溶かし、それから居間の絨毯の上に彼女があぐらをかいてその前に私と家内とクリに同様に座れと命じ、フィジー語の呪文のような言葉をぶつぶつ言いつつこのボウルの水を飲めと言いました。飲む前に拍手を打てとのことでぼんぼんと相撲の要領で 2 回打ったら、そうではなくて掌を水平にして上下に打たねば駄目と叱られその通り実行しましたが、粉の正体が不明の上、溶かす時は彼女の白くない手がかき混ぜていたのが気持ち良く頂きますとはとても言えなかったのですが、そこは日フィの外交問題にならないよう配慮して目をつむって飲みました。家内もクリも飲みました。もちろん最初に飲むのはナニです。クリに目配せしてまさか麻薬ではないだろうねと日本語でこっそり確認しましたが味が素っ気もない泥水を飲んだような気が

しました。これで私達がフィジーへ行ったら誰からも友達として歓迎してくれると彼女は太鼓判を押してくれました。うれしいことです。

昨年は以前に預かった留学生がシカゴで結婚式を挙げたので行って来ましたし、今年の 9 月には別の子がドイツのライプチヒで結婚するので祝福に行き、来年にはカナダからの子がメキシコかジャマイカで結婚式を挙げるので絶対来て欲しいと言われていています。預かっている時には行き違いもあって困ることもあったのですが、暫く経ってからこんなお祝いに行けるのは本当にホストファミリー冥利に尽きる思いです。

《代理見合い？ 未婚率？ ～～ちょっと気になるニュース～～》

松尾 茂樹 (昭 60 商)

先日、ある TV 番組で“代理見合い”が大盛況との情報を見てビックリしました。結婚できない、もしくはする気のない子供の為に、親同士が会場に数 10 人 (組) が集まってお見合いをするのだそうです。子供の写真・プロフィールを持って、年齢、学歴、仕事、年収、趣味・趣向、好み、などで相手を探し、親同士が気に入れば、子供も一緒に再度お見合いをするのだそうです。それってどう思います？ プライバシーも無く、まるで政略結婚ですよ。子供がだらしないのか、いや、過保護すぎとか、子離れできてない親が多いということでしょう。

学校で問題になっているモンスターペアレントも同じではないでしょうか？ 子供は自分のドレスやバッグなどのように、自分を着飾ってみせる持ち物のひとつで、ペットのようなものなのかもしれません。かわいくて従順で、お利口さんであるはずの存在なのです。

もしも子供がそうならなければ、みんな回りが悪い。友達が悪い。先生が悪い。学校が悪い。社会が悪い。または、そんな子は内の子供では無い。と疎外して家庭崩壊。

その為か、結婚願望というか家庭を持つ人も減ってきているようです。その情報にも数字を聞いて

てビックリしました。

“未婚率”（一度も結婚したことの無い人の率）が急激に上がっているのだそうです。

		1975年	1985年	1995年	2005年
29歳	男	48.3%	60.4%	66.9%	71.4%
	女	20.9%	30.6%	48.0%	59.0%
34歳	男	11.7%	28.1%	37.3%	47.1%
	女	7.7%	10.4%	19.7%	32.0%

ますます子供が減るし、家庭崩壊も増えてきて、この先が怖いですね。

内も中2と小4の子供がいて、ボーイスカウトのリーダーをしておりますので、非常に気になりますし、自分自身見つめ直さないといけないな〜と思っております。

仕事？とおつきあいの飲食？でかなり家庭をないがしろにしているダメな父親です。

大阪の橋本知事ではないですが、公約で言った「子供が笑う」様な社会になってほしいですね。最近のちょっと気になるニュースから・・・

《ご無沙汰しています》

辰野 芳之（昭42経）

神戸を離れ帰京して早や3年半。再び訪れたいと思いつつ、ナカナカ果たせず今日に至っています。お送りいただくBRBなどで何となく雰囲気は伝わり懐かしく感じております。

なるべく早く神戸の街を訪れたいと念じているこのごろです。

正直なところ、関西で住むには神戸が良いと思うのですが、仕事や遊びで関西へ行くととなると大阪、京都、奈良が優先してしまう、お許しください。（地方会員）



普段、会の行事に出席できない方、遠隔地の方も誌面に登場して参加してください。皆さんの投稿をお待ちしています。

堀 友子 tomoko@1968.jukuin.keio.ac.jp

ニュース

《神戸慶應倶楽部「読書会」発足！》

神戸慶應倶楽部の規約第2条には倶楽部が行う事業として文化・教養・健康に関する事業を謳っておりますが、神戸慶應倶楽部の発足80年を来年に迎えて神戸慶應倶楽部において「読書会」を始める運びとなりました。

この「読書会」を神戸慶應倶楽部の会員が同じ本を読み合って読書の楽しみを分かち合う場にしていきたい思います。

ところで「読書会」で取りあげる本ですが、なんとといっても私達にとっての共有できる本といったら福澤先生が書き残された著作だろうと思います。三田評論の6月号では「いま立ち戻る古典としての福澤諭吉」という特集が組まれております。立教大学や東京大学でも「福澤の著作を学生とともに読む」とのことですが、慶應義塾の創立150年を迎えた今、「いま立ち戻る古典」として「学問のすすめ」「福翁自伝」「文明論之概略」などが注目されているようです。

そこで「読書会」もまず始めに「学問のすすめ」の輪読からスタートしたいと思います。現代語訳も出ておりますが、慶應義塾を卒業した私達ですからやはり「原文」で読みたいと思います。

手に入りやすい本ですし、既にお持ちの会員も多いと思いますから「学問のすすめ」であればどれでも構わないのですが、岩波文庫（青102-3 定価560円・税）のものが安く手に入ります。また慶應大学出版の福澤諭吉著作集第3巻（2000円・税）は注釈が充実しております。

「読書会」は同好会にしないで倶楽部会員の自由な自主的参加を期待して月に1回の割合で倶楽部で行いたいと思います。いわば第二の例会のような集いになれば大成功です。夜6時半から8時半頃までの約2時間の例会を前半・後半の2部に分け、1部では当面「福澤先生のご著書」の輪読をしますが、2部では会員から読むべき本の紹介をして頂きます。この2部においては経済、政治をはじめ様々な分野に渡る面白い本を紹介し内容を解説して頂くことで時代が求める情報や考え方を身に付けられるのではないのでしょうか。

「読書会」の運営に当たっては長続きさせるためにも特定の人に負担を掛けたくありませんので

特に幹事役は設けません。神戸慶應倶楽部の部室を会場にしますが出欠はとりません。当日の「読書会」に参加した会員がその日の「読書会」のメンバーになります。食事は各自ご自由に弁当でも持ち込んでください。当日の「読書会」の報告と次回の案内はB R Bに掲載しますので、この情報を頼りに自由にご参加ください。

第1回の「読書会」は9月24日(水)6時半からとさせていただきます。

この日の第1部は「学問のすすめ」の輪読です。「学問のすすめ」をお持ちください。第2部の会員からの「本の薦め」を先取りして堀切民喜会員から①「人々はなぜグローバル経済の本質を見誤るのか」水野和夫著、日本経済新聞出版社(2200円・税)②「ルポ貧困大国アメリカ」堤未果 岩波新書(700円・税)をお薦めします。

「読書会」に対するご意見、お問い合わせは倶楽部事務局もしくは下記の3名までお寄せください。ご友人お誘いのうえ「読書会」へのご参加楽しみにお待ちしております。

呼び掛け人代表：堀切民喜(昭29経)・堀友子(昭43商)・阪本豊起(昭49法)

同好会だより

イーゼル会

《今月の絵》



蛭田 武(昭42経)

会員募集中!

第2・4木曜日に教室を開いています。体験入学・見学大歓迎です。世話人：前田 剛資(昭39工)

KKJC

♪ジャズの好きな方大歓迎♪

○納涼ジャズパーティ 7/13(日)三宮「グレート・ブルー」にて。メンバー結成の“サンセット77”が演奏します。すでに満員御礼のうれしい悲鳴。この模様は次号でたっぷりとレポートいたします。ご期待ください!

○秋のジャズ&ゴルフツアー 11/1~2(土・日)今年には浜松に行きます。関西ジャズ界の重鎮鍋島直昶大先輩、日経新聞にも取り上げられた小川理子さんの参加で大いに楽しみます。

<http://www.nikkei.co.jp/kansai/news/news000400.html>

○鍋島さんは今年がジャズ人生60年。8/17には記念ライブをされます。

♪ご興味ある方は連絡ください。

世話人：近藤 正(昭39商)

●**10/26の関西合同三田会**では、ジャズコンサートに小川理子さん、團裕子さんが出演します。

PC同好会

しばらく休眠状態になっていますが、メンバーの熱望で再開したいと考えています。

情報交換という形で集まり、お互い教え合うというのもいいのではないのでしょうか?

どなたか音頭を取っていただければありがたいのですが・・・

世話人：市川義人のつぶやき

新企画

《神戸慶應川柳(仮称)》大募集!!

皆さんからお寄せいただく『川柳』を編集部の独断と偏見(?)で作品を選び誌面に披露いたします。時期は未定ですが、優秀作品には“賞品”を差し上げるかも・・・?

どしどしご応募ください!

“呼びかけに あったまた来た と 逃げられる”
“締切日 パソコンの前 待ちぼうけ”

～7月例会サマーパーティ～

日時：7月11日（金） 18：30～21：30
場所：神戸銀行倶楽部
住所：神戸市中央区江戸町9 1-1
電話：078-331-2766
会費：会員 9,000円
会員家族 高校生以上 9,000円
会員家族 小・中学生 5,000円
会員家族 小学生未満 2,000円
ビジター 10,000円

内容

①慶應義塾創立150年記念イベント

「歩いて識る150年～中津から三田へ1500km」
当日はワンダーフォーゲル部が明石より神戸に到着し、神戸慶應倶楽部との交流会となります。

②恒例のオークションを開催いたします。

必ずお一人一品以上の出品をお願いします。

6月23日付でご案内していますように、最終締切は7月3日（木）となっています。ご出席の方でお返事まだの方は至急にご連絡ください。

当日飛び込みで出席される方が見受けられますが、食事数に影響がありますので、必ず事前にご連絡をお願いいたします。

～～事務局よりお願い～～

- ◆本年度は関西合同三田会会員名簿作成の年です。6月中旬にお送りした確認書類を7月15日までにFAX返信お願い致します。尚、広告掲載も募集しております。
- ◆例会等にご出席の会員様はお食事等の準備の都合がありますので、必ず事前に事務局までお申し込みをお願いします。なお、当日のキャンセルにつきましては会費全額を頂きますのでご了承ください。
- ◆住所・電話番号・メールアドレスの変更がある場合は、必ず事務局にお知らせください。

～～今後の行事予定～～

8月 例会はありません
9月 2日（火） 例会 会場未定
9月 3日（水） 慶早ゴルフ 神戸ゴルフ倶楽部
9月 24日（水） 読書会 倶楽部ルーム
10月 26日（日） 関西合同三田会 大阪国際会議場
11月 8日（土） 創立150周年記念式典 日吉
11月 9日（日） 連合三田会 日吉
12月 6日（土） 家族例会 ポートピアホテル
2009年1月10日（土） 福澤先生誕生記念祝賀会
1月 30日（金） 新年例会 会場未定
2月 例会はありません
3月 18日（水） 例会 東天閣
詳細はその都度お知らせいたしますので、毎月BRBでご確認ください。



編集後記
○今月から平成12年卒の齋藤洋邦君をスタツフに迎えました。どうぞ息子(?)をよろしく願います。世代を超えて同じ事に取り組むことが出来るのも三田会ならではの。若い情熱が誌面を充実させてくれると期待しています。
○5月の総会の後、お手伝いをさせて頂いております。例会ではカメラ小僧となり、時折ご歓談をお邪魔いたしますが、ご容赦ください。レンズにお気づきの時、最高の笑顔を頂戴できれば幸いです。
(洋)